

ならちゅうしん経営研究会  
定例総会及び第 388 回例会報告

日 時	令和 7 年 7 月 16 日 (水)		
開催場所	グランドメルキュール奈良橿原		
内 容	第 1 部	総 会	15:00 ~ 15:40 (ミーティングルーム 3)
	第 2 部	基調講演	16:00 ~ 17:30 (ミーティングルーム 2)
	第 3 部	懇 親 会	18:00 ~ 19:45 (ミーティングルーム 1)

基調講演 講 師 株式会社WELLZ UNITED  
代表取締役社長 井上 大輔 氏  
演 題 「長期的に最幸に儲ける」

今年度も、ならちゅうしん経営研究会総会を、グランドメルキュール奈良橿原にて開催致しました。受付には例年どおり、NPO法人ならチャレンジドのご協力で、奈良県立高等養護学校の生徒さんにお手伝いをして頂きました。

(第 1 部) 令和 7 年度定例総会

第 1 部総会では、芳仲敏典会長のご挨拶の後、慣例に従いまして会長が議長を務め、議事を進行頂きました。第 1 号議案の令和 6 年度活動報告および令和 6 年度収支決算、剰余金処分 (案) 並びに監査報告について承認を受けました。続きまして第 2 号議案の新役員を選任について、世話人の株式会社上杉食品代表取締役上杉憲史様が会員を専務取締役の上杉晃司様に交代することに伴い、1 名欠員となる世話人に、株式会社大和精密製作所専務取締役の塩田孝一様を選出したい旨、満場一致にて承認されました。続きまして第 3 号議案の令和 7 年度活動計画 (案) および令和 7 年度収支予算 (案) が審議され、全会一致で承認されました。

(第 2 部) 基調講演

第 2 部基調講演は、株式会社WELLZ UNITED 代表取締役社長 井上大輔氏をお迎えし、「長期的に最幸に儲ける」という演題でご講演を頂きました。

井上社長は、大学卒業後、イギリスロンドンでホテルマネジメントを学んだ後、インドネシア、バリ島でホテル経営に携われました。2003 年 29 歳で家業である井上株式会社 3 代目社長に就任され、借入金 20 億円、債務超過 10 億円の会社を実質無借金経営の優良企業に立て直されました。

継承時の会社はどうにも立ち行かず明日どうなるかもわからない窮地にたたされた時に第二創業を決意し原点について考え直されました。明日終わるとして、自分は何を成し遂げたというのか、今まで頂いた恩を返さないといけない、社員さんからの恩に応

えられていない、ここで終わるわけにはいかない、社員さん達も自分も再起をかける、自分が大切にしたい価値観から目をそらさない、強い決意のもと動き出されます。

優しさ思いやりにあふれた楽しいルートでいつか必ず卓越した成果を生む自分と組織になる目標に向けて「人中心の信頼スパイラル経営」「顧客価値作りの絶え間ない挑戦」をやり続け、最初の3年は全く成果も上がらず経営幹部からは非難され続けたが、ようやく若手や女性から変わり始め、やがて年輩の社員まで立ち上がってくれるに至ったそうです。

P D C Aを回す逆算経営ではなく、1人1人の気づきを重ねる独自ミルクレープ経営を目指し、「社員を信頼→気づきの支援→実行の支援→実行→顧客への価値提供→信頼」というサイクルを継続されてきました。社員が今日一日楽しいか、お客様に喜んでもらえているか、社員の生活は潤っているかに日々フォーカスし、社内SNSによる「気づき」や「ありがとう」の情報発信により新鮮な情報をシェアされているそうです。

今では社員1人1人が気づき→挑戦→経験によって仕事の領域を広げていける仕組みが形成されたことで、ハッピースパイラルビジョンを掲げることが出来るようになり、お客様、社員、アライアンス関係者、地域、全てのステークホルダーを笑顔にすることで「長期的に最幸に儲けよう」を実現させて行けるとのお話でした。

企業価値を高める為には（お客様層×提供価値×売り方）を追求するしかない。5億の売上取引先であっても、社員が疲弊して仕事を受けていたので丁重に取引対応出来ない旨を説明してお断りしたこともあったと実体験の話も説得力がありました。



株式会社WELZ UNITED 代表取締役社長 井上 大輔 氏（基調講演）

### (第3部) 懇親会

第3部懇親会では、まず冒頭に芳仲敏典会長よりご挨拶を頂き、続いて公益財団法人奈良県地域産業振興センター 専務理事の前阪祥弘氏よりご来賓を代表してのご祝辞を頂き、公益財団法人 奈良県地域産業振興センター 奈良県よろず支援拠点 チーフコーディネーターの上山幸寛氏の乾杯にて宴が開かれました。歓談の後、山田育弘副会長より中締めのご挨拶を頂き、懇親会は盛大のうちにお開きとなりました。



芳仲敏典会長（総会でのご挨拶）